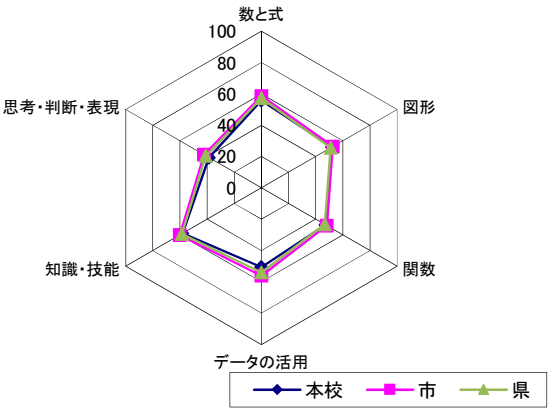


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	55.8	58.6	57.2
	図形	52.0	52.6	51.1
	関数	47.3	48.2	46.8
	データの活用	50.6	56.1	54.1
観点	知識・技能	58.1	60.2	58.6
	思考・判断・表現	38.6	42.3	40.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は、市の平均より2.8ポイント、県の平均より1.4ポイント下回った。 ○正負の数の計算や、移項を必要としない1次方程式を解いたり、素因数分解をすることは、よくできていた。 ●1次式の減法の計算や、絶対値や不等式についての理解、与えられた文章題に対して、適切に立式することに課題が見られた。	・正負の数の計算は比較的できているが、文字式の計算においての正答率が低いので、文字の扱い方や計算のルールを丁寧に説明し、繰り返し問題演習を行うことで力を付けさせていきたい。
図形	平均正答率は、市の平均より0.6ポイント下回ったが、県の平均より0.9ポイント上回った。 ○回転移動した角度についての問題や、半径が等しいおうぎ形と円の面積の大きさについての問題はよくできていた。 ●円柱の側面積を求める内容において課題が見られた。	・立体の表面積を求めるためには、展開図が必要となってくるので、展開図をイメージしてかけるように、模型やICTを活用して立体についての理解を深めさせたい。また、おうぎ形についての正答率が低いので、問題演習を行っていききたい。
関数	平均正答率は、市の平均より0.9ポイント下回ったが、県の平均より0.5ポイント上回った。 ○与えられた関数の表をもとに、yがxに比例している表を選ぶ問題はよくできていた。 ●反比例の関係における、x、yの値から、反比例の式を選ぶ内容において課題が見られた。	・関数の意味を理解させることで、反比例など比例以外の関数についても、式やグラフがかけるように繰り返し問題演習を行っていく。
データの活用	平均正答率は、市の平均より5.5ポイント、県の平均より3.5ポイント下回った。 ○度数分布表から、ある階級の相対度数を求める問題はできていた。 ●ある結論をだすために、必要なデータを選ぶ内容や、ヒストグラムから最頻値を求める内容に課題が見られた。	・度数分布表や相対度数などの基本的な用語の意味は理解できているが、ヒストグラムから最頻値を求めたり、データを比較して説明したりする問題の正答率が低かった。授業の中で、与えられたデータから代表値を求める問題演習を行ったり、任意小集団での話し合いの時間を設けることで力をつけさせたい。